

令和6年度第2回  
聖籠町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議資料

## 町の人口動態の状況について

### 【統計データの利用について】

- 人口推計(人口ビジョン)では、総務省統計局「国勢調査」の総人口を用いて推計しています。
- 本資料においても、基本的には「国勢調査※1」を、国勢調査未実施の年次の人口については「新潟県人口移動調査」の推計人口※2等を用いています。
- 要因別の分析において、国勢調査等によることが難しい場合は、その他の調査を用いています。

※1：国勢調査は5年周期で実施(直近は令和2年10月1日時点)している。国勢調査人口は「常住人口(3か月以上(予定含む)の居住歴)」であり、住民基本台帳への登録とは直接関係がない。

※2：推計人口(毎年10月～9月の集計)＝国勢調査人口＋(住民基本台帳の出生・転入－死亡・転出)

聖籠町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議事務局

### 人口動態

- ✓ 町の総人口は緩やかに増加傾向
- ✓ 年少・生産年齢人口は減少する一方で、老年人口は増加 = 少子高齢化の進展

自然動態 = 出生と死亡のバランス

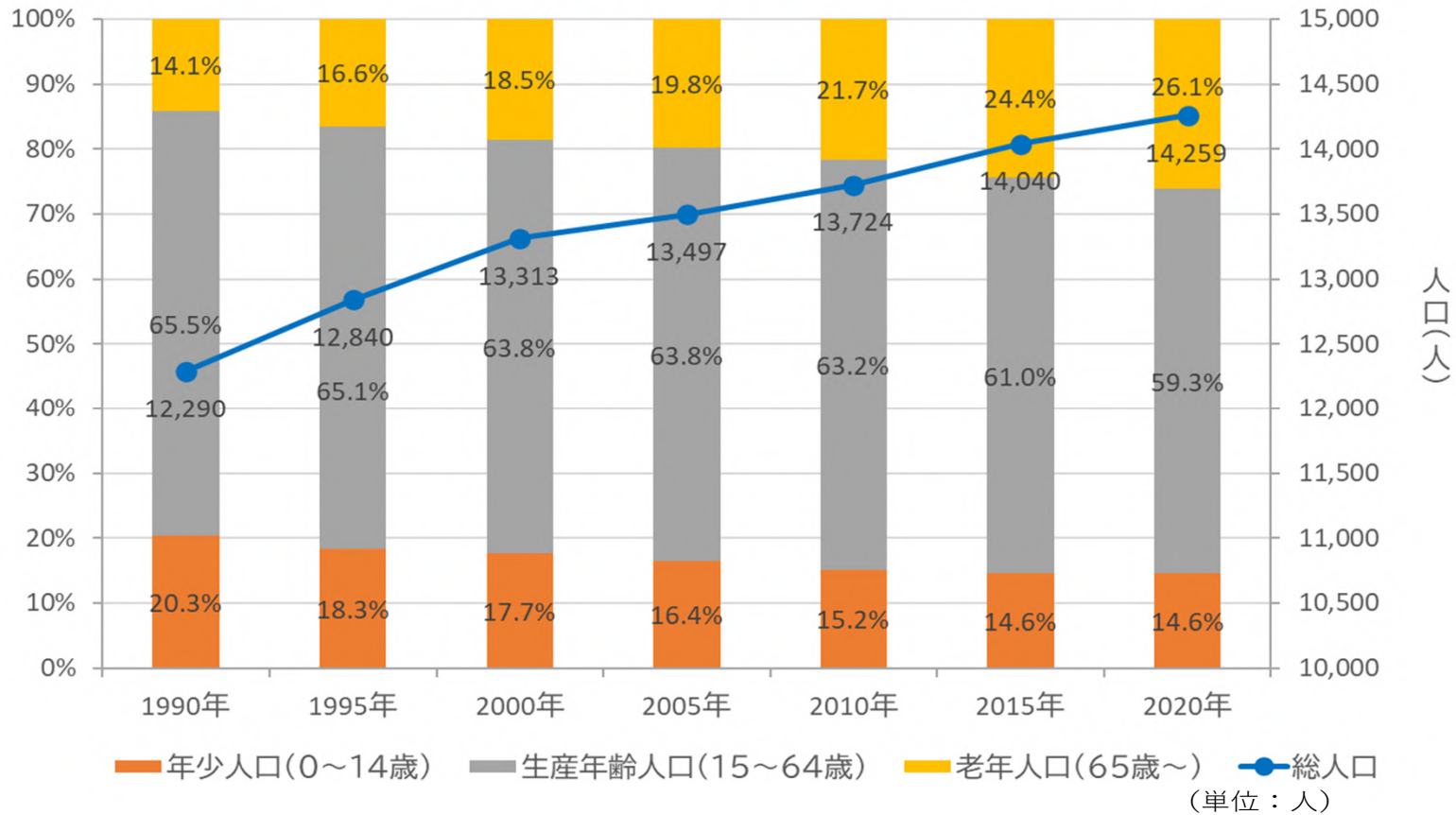
- ✓ 近年は出生数と死亡数が均衡(県内トップクラスに良好な水準)
- ✓ 合計特殊出生率が高い(県内トップクラスに良好な水準)

社会動態 = 転入と転出のバランス

- ✓ 近年は転入超過、転出超過が年によって変動(県内トップクラスに良好な水準)
- ✓ 若者世代(15歳~34歳)の転出入  
(転出:大学進学ほか、転入:JAPANサッカーカレッジ・住宅取得ほか)
- ✓ 国外からの大幅な転入超過(外国人の増加)

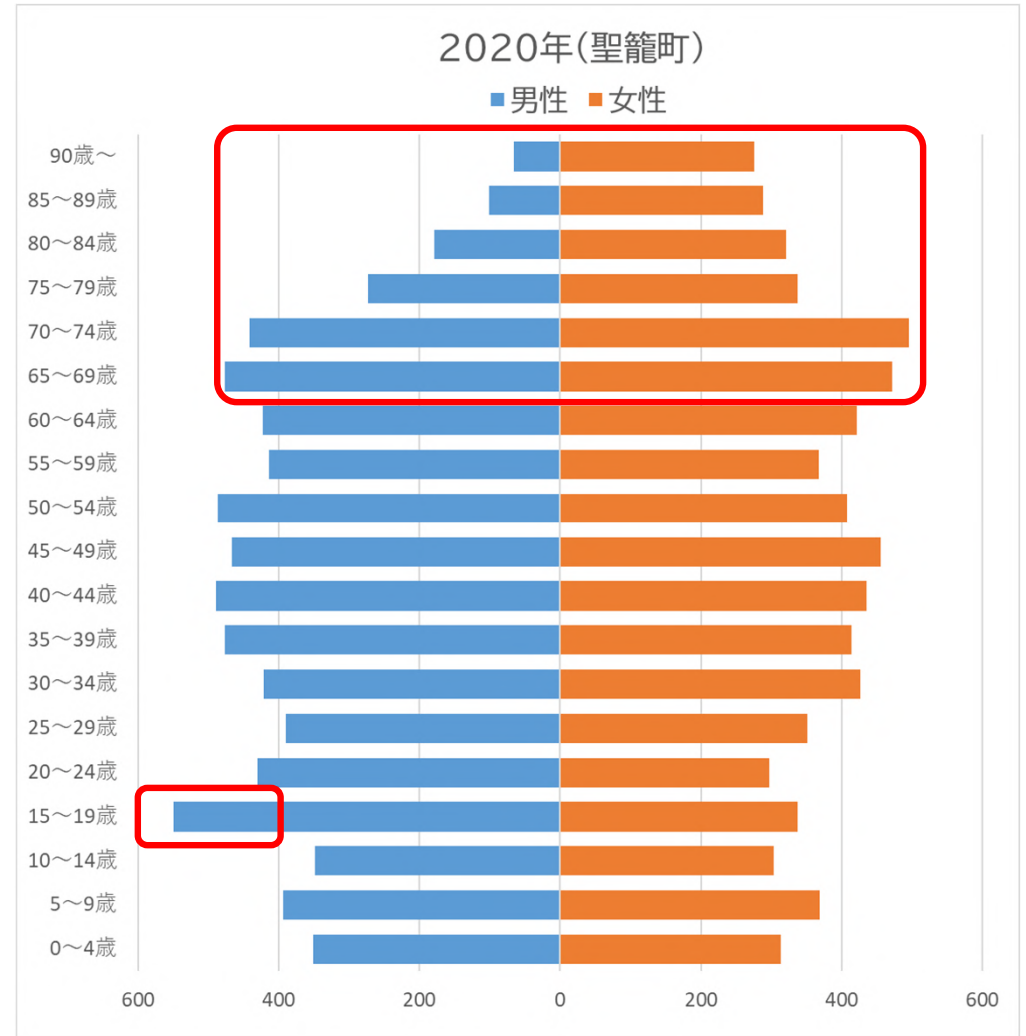
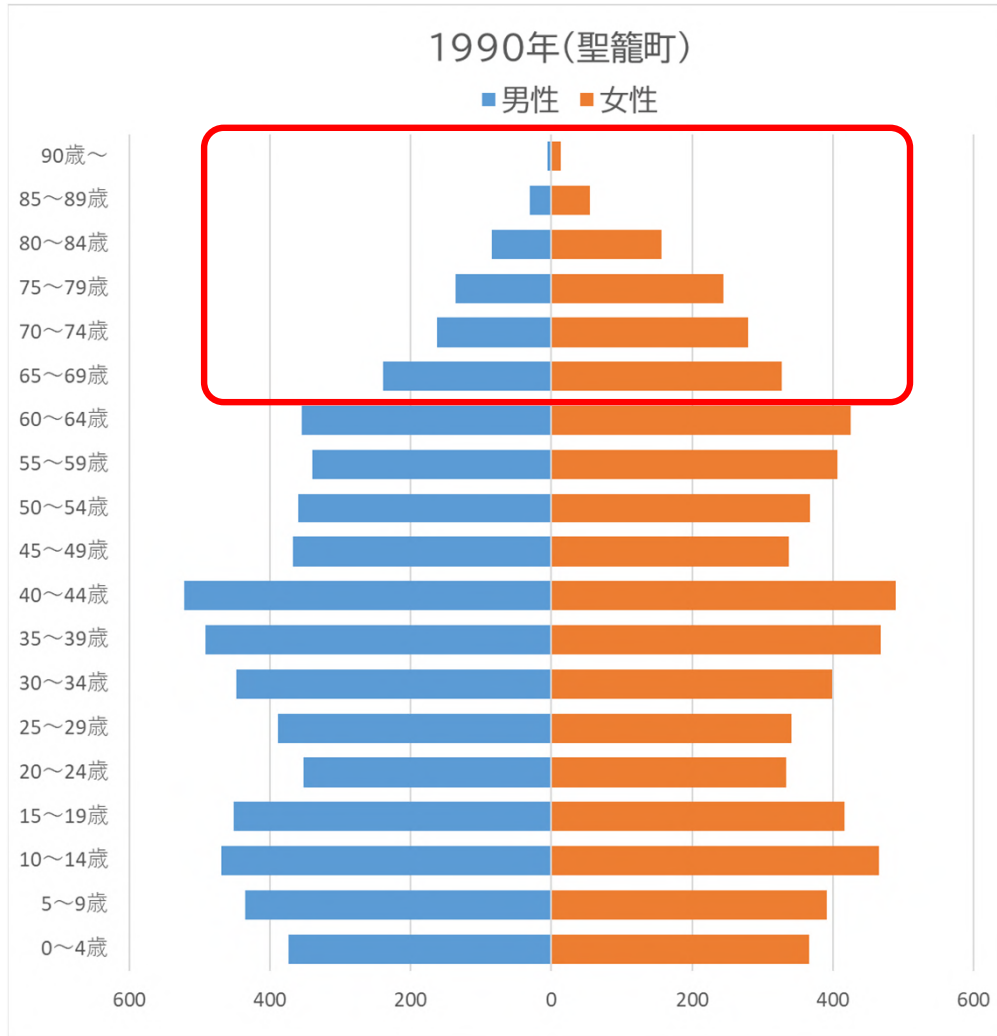
- 2020年の総人口は14,259人であり、直近30年では緩やかに増加傾向です。
- 年少人口(0～14歳)・生産年齢人口(15～64歳)は減少している一方で、老年人口(65歳～)は増加傾向です。

<年齢3区分別人口の推移>



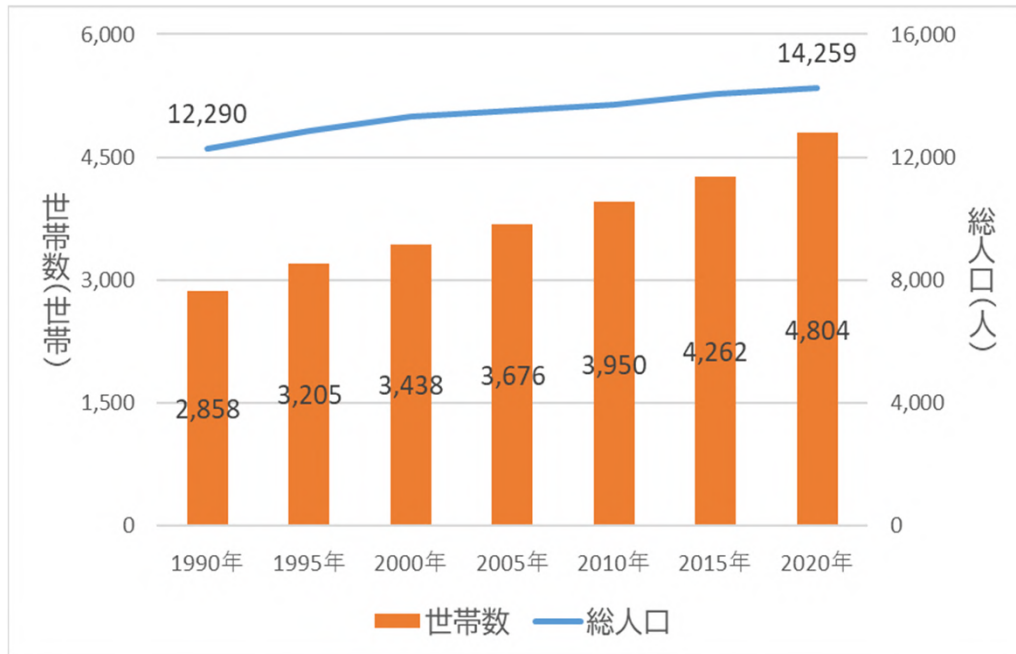
	1990年	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年
総人口	12,290	12,840	13,313	13,497	13,724	14,040	14,259
年少人口(0～14歳)	2,500	2,350	2,355	2,215	2,082	2,056	2,078
生産年齢人口(15～64歳)	8,056	8,357	8,492	8,615	8,667	8,564	8,456
老年人口(65歳～)	1,734	2,131	2,466	2,667	2,975	3,420	3,725

- 65歳以上の人口が男女ともに増加しています。
- 2020年の15～19歳の男性人口が前後の年齢区分に比して多くなっています。

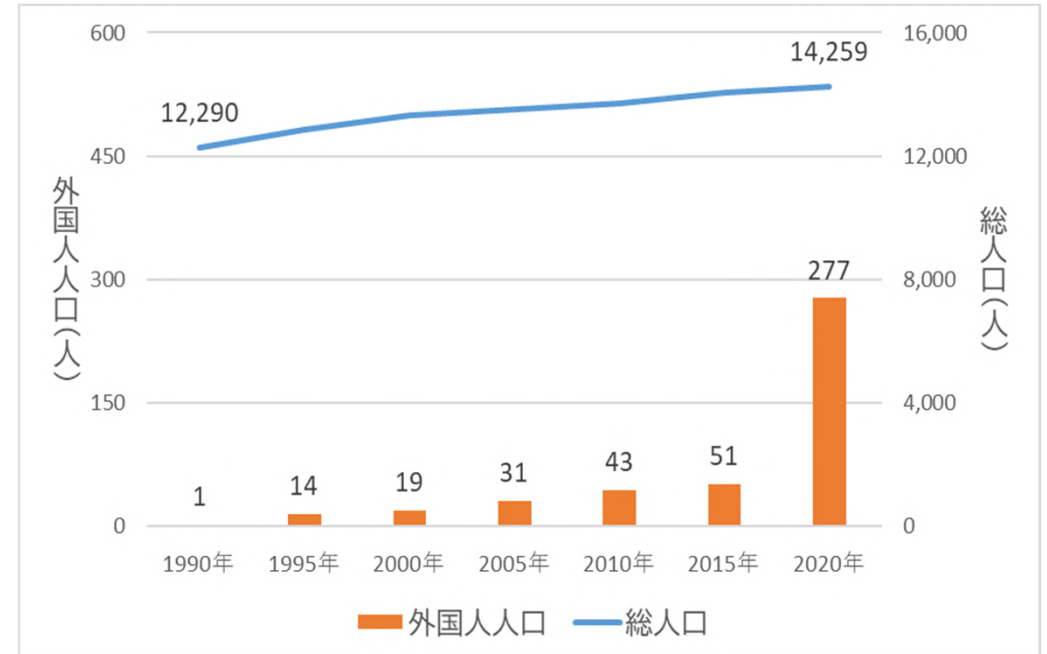


- 1990年→2020年で、総人口は約1.2倍、世帯数は1.7倍となりました。（世帯数の増加率が高い）
- 外国人人口は2015年まで緩やかに増加傾向でしたが**2020年に大きく増加しました。**

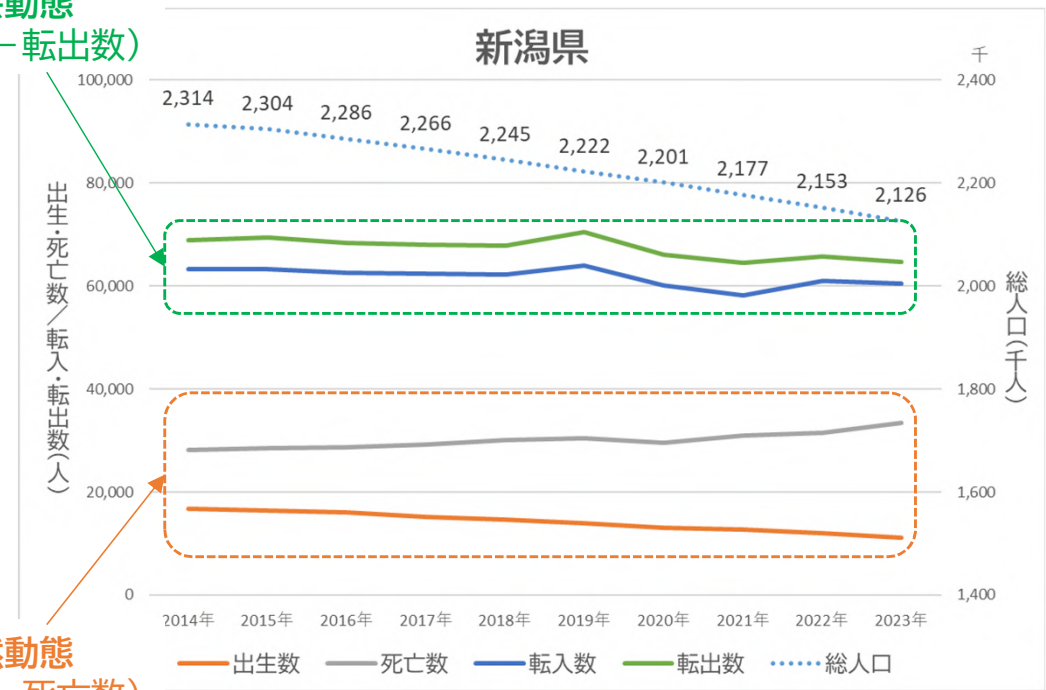
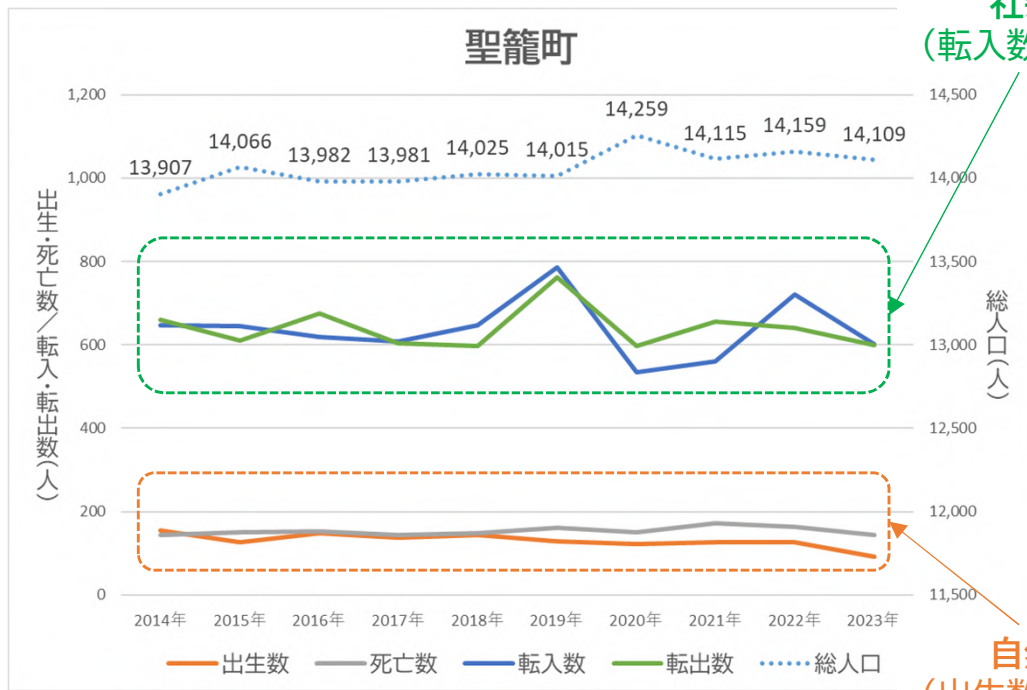
< 世帯数の推移 >



< 外国人人口の推移 >



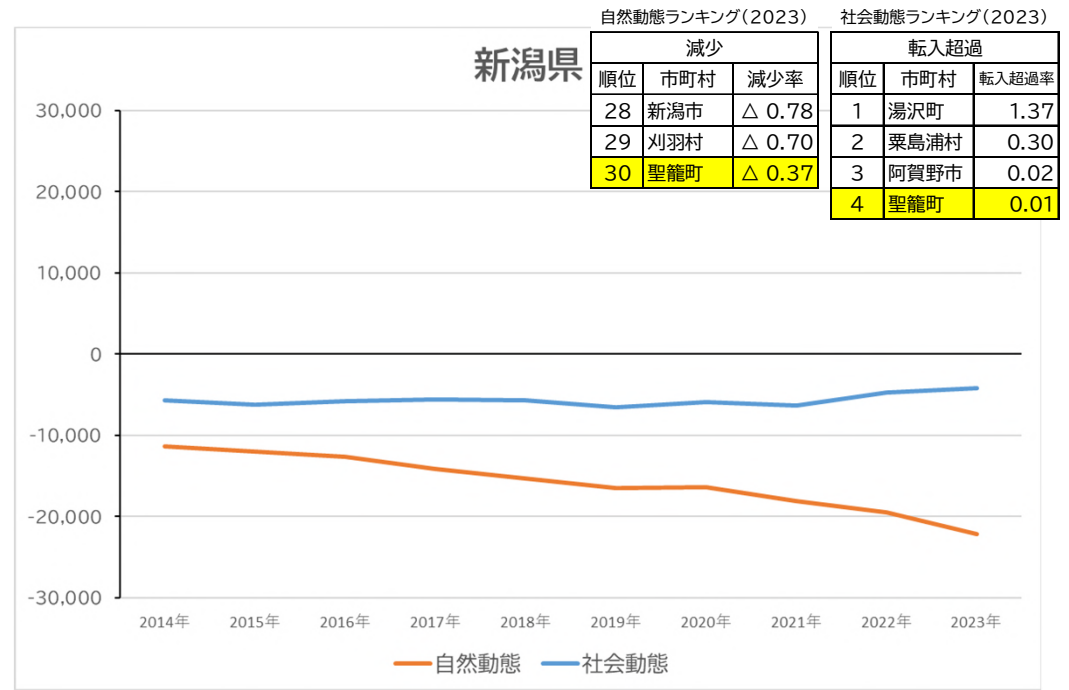
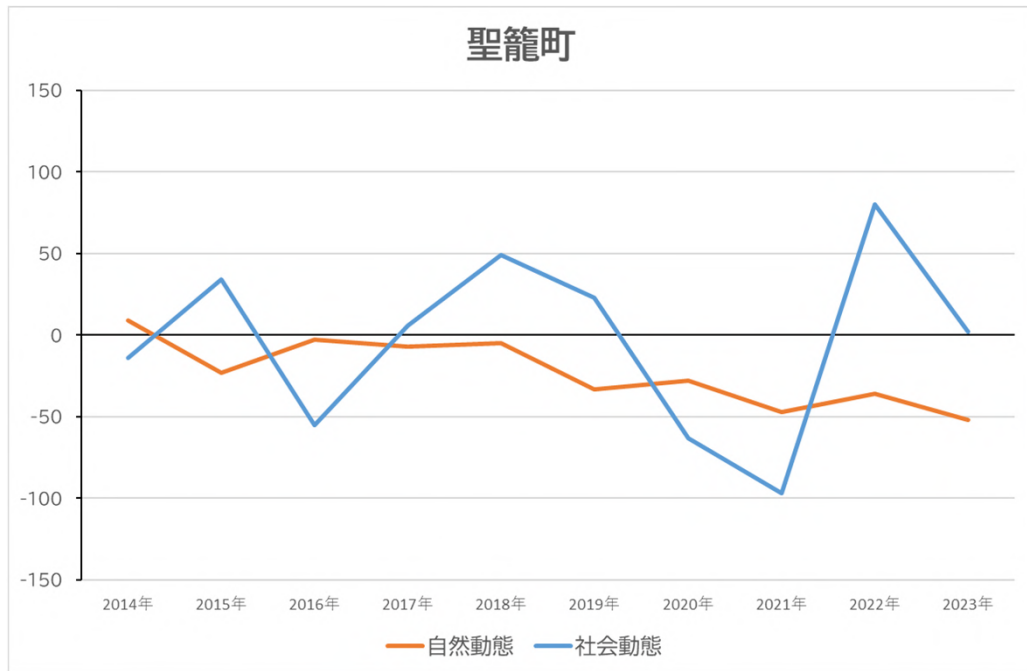
- 「自然動態」については、**出生数と死亡数が均衡する状態が続いています。**  
(2019年以降は自然減(死亡数>出生数)が拡大傾向)
- 「社会動態」については、**社会増(転入超過)、社会減(転出超過)が年によって変動する状況が続いています。**
- 聖籠町においては自然動態・社会動態ともに、県平均を上回る水準で推移しています。(県内ではトップクラス)



	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
総人口	13,907	14,066	13,982	13,981	14,025	14,015	14,259	14,115	14,159	14,109
出生数	154	127	149	137	143	128	122	126	127	93
死亡数	145	150	152	144	148	161	150	173	163	145
自然動態	9	△ 23	△ 3	△ 7	△ 5	△ 33	△ 28	△ 47	△ 36	△ 52
転入数	647	645	620	609	647	785	535	560	720	601
転出数	661	611	675	603	598	762	598	657	640	599
社会動態	△ 14	34	△ 55	6	49	23	△ 63	△ 97	80	2

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
総人口	2,313,820	2,304,264	2,285,856	2,266,121	2,245,057	2,222,004	2,201,272	2,176,879	2,152,664	2,126,276
出生数	16,757	16,485	16,051	15,158	14,665	13,973	13,148	12,794	12,006	11,207
死亡数	28,094	28,465	28,666	29,272	30,029	30,484	29,506	30,909	31,467	33,396
自然動態	△ 11,337	△ 11,980	△ 12,615	△ 14,114	△ 15,364	△ 16,511	△ 16,358	△ 18,115	△ 19,461	△ 22,189
転入数	63,296	63,262	62,649	62,422	62,149	63,905	60,115	58,266	61,074	60,417
転出数	68,936	69,438	68,442	68,043	67,849	70,447	66,015	64,544	65,828	64,616
社会動態	△ 5,640	△ 6,176	△ 5,793	△ 5,621	△ 5,700	△ 6,542	△ 5,900	△ 6,278	△ 4,754	△ 4,199

- 「自然動態」については、出生数と死亡数が均衡する状態が続いています。(2019年以降は自然減(死亡数>出生数)が拡大傾向)
- 「社会動態」については、社会増(転入超過)、社会減(転出超過)が年によって増減する状況が続いています。
- 聖籠町においては自然動態・社会動態ともに、県平均を上回る水準で推移しています。(県内ではトップクラス)**

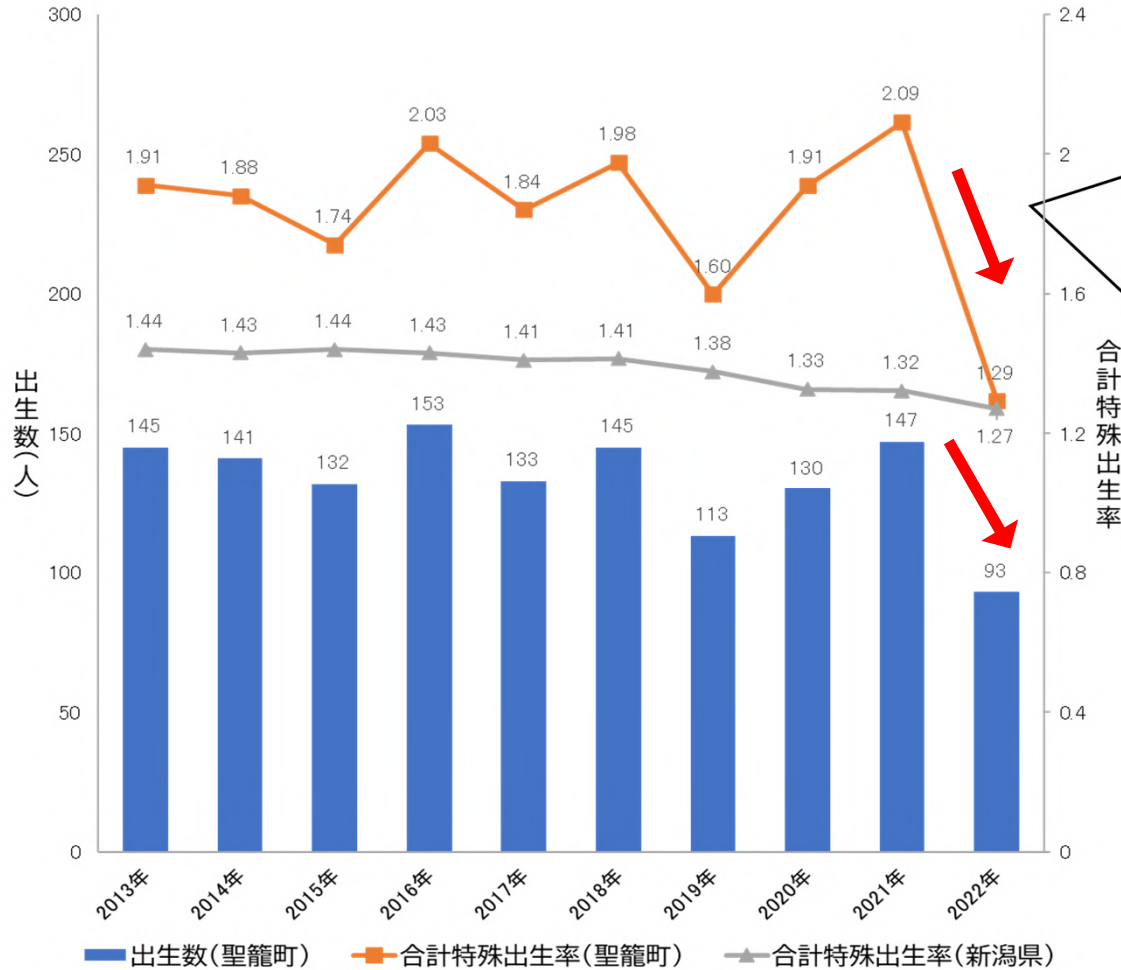


	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
総人口	13,907	14,066	13,982	13,981	14,025	14,015	14,259	14,115	14,159	14,109
出生数	154	127	149	137	143	128	122	126	127	93
死亡数	145	150	152	144	148	161	150	173	163	145
自然動態	9	△ 23	△ 3	△ 7	△ 5	△ 33	△ 28	△ 47	△ 36	△ 52
転入数	647	645	620	609	647	785	535	560	720	601
転出数	661	611	675	603	598	762	598	657	640	599
社会動態	△ 14	34	△ 55	6	49	23	△ 63	△ 97	80	2

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
総人口	2,313,820	2,304,264	2,285,856	2,266,121	2,245,057	2,222,004	2,201,272	2,176,879	2,152,664	2,126,276
出生数	16,757	16,485	16,051	15,158	14,665	13,973	13,148	12,794	12,006	11,207
死亡数	28,094	28,465	28,666	29,272	30,029	30,484	29,506	30,909	31,467	33,396
自然動態	△ 11,337	△ 11,980	△ 12,615	△ 14,114	△ 15,364	△ 16,511	△ 16,358	△ 18,115	△ 19,461	△ 22,189
転入数	63,296	63,262	62,649	62,422	62,149	63,905	60,115	58,266	61,074	60,417
転出数	68,936	69,438	68,442	68,043	67,849	70,447	66,015	64,544	65,828	64,616
社会動態	△ 5,640	△ 6,176	△ 5,793	△ 5,621	△ 5,700	△ 6,542	△ 5,900	△ 6,278	△ 4,754	△ 4,199

● **合計特殊出生率※は、県平均を上回る水準で推移**しています。(県内ではトップクラス)

※合計特殊出生率:15歳～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が一生の間に生むこどもの数に相当する。  
 出生率 :人口千人に対する出生数の割合(=年間出生数(1～12月)／各年10月1日現在人口×1,000)



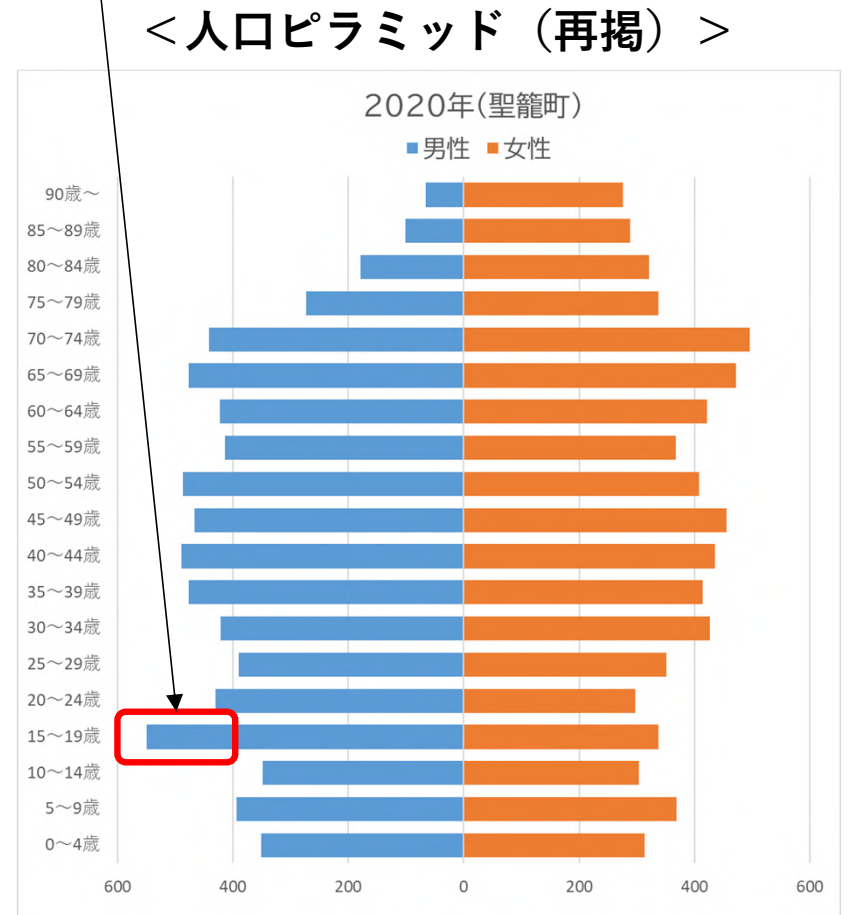
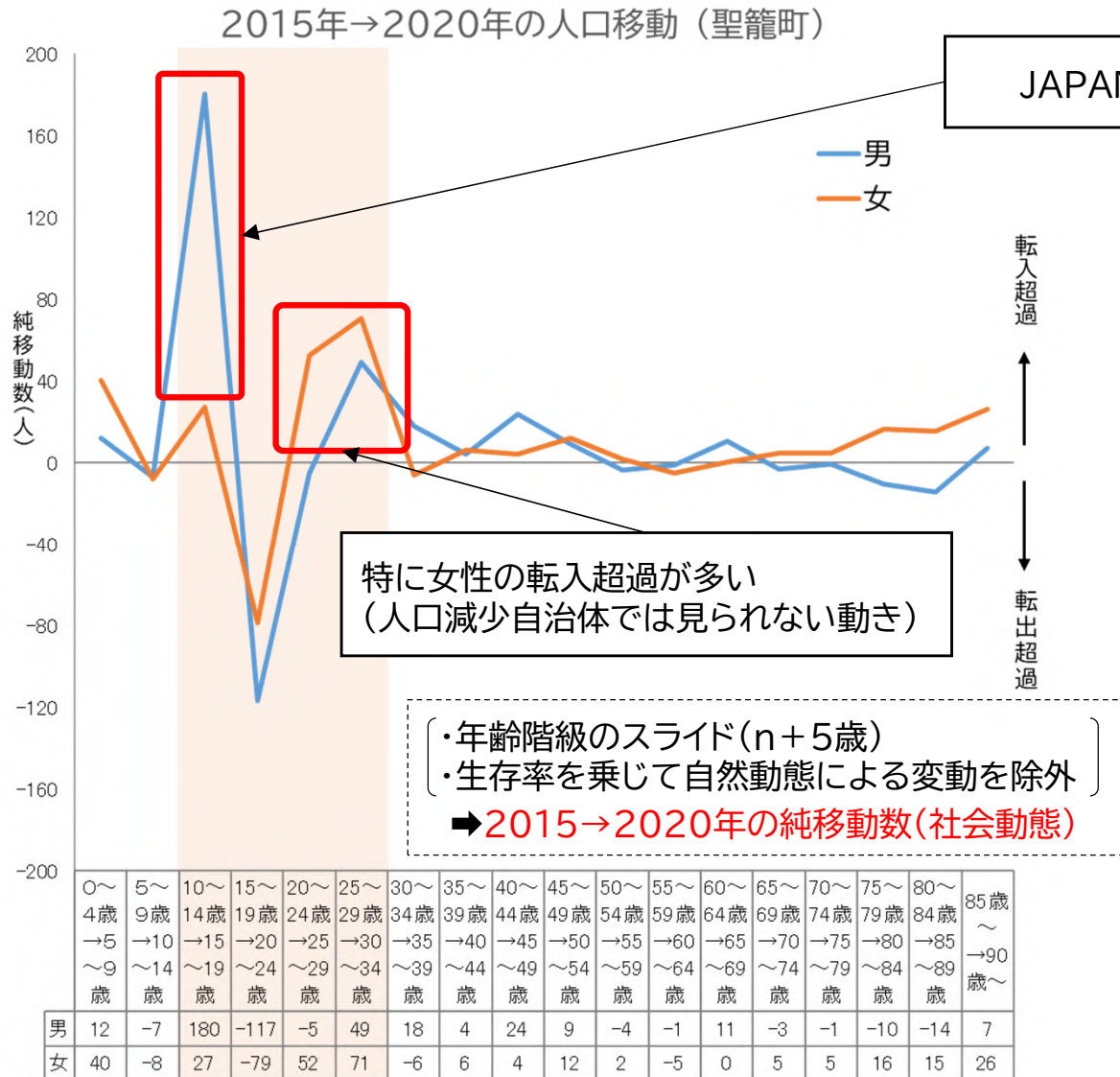
**【直近の動向】**

- **合計特殊出生率は2022年で1.29となりが前年から大幅に減少した。**
- 出生率は出生数の増減と比例する。  
 → **2023年は出生数が増加する見通し(見込:109人)であり、合計特殊出生率も一定の改善を見込む。**
- 合計特殊出生率の変動要因は、多岐に及ぶものである。  
 ※人口規模の小さい市町村の「合計特殊出生率」は偶然変動の影響を大きく受けるため取扱上注意が必要とされている。

総合戦略KPI : 1.92 (2019~2023)  
 実績 : 1.72 (2019~2022)

	単位	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
合計特殊出生率(聖籠町)	—	1.91	1.88	1.74	2.03	1.84	1.98	1.60	1.91	2.09	1.29
県内市町村別順位	位	2	2	4	1	3	3	5	1	1	12

- 男性においては、10～14歳→15～19歳で大幅な転入超過となっています。
- 男女ともに、15～19歳→20～24歳で転出超過となり、30歳代に向けて転入超過に転じています。

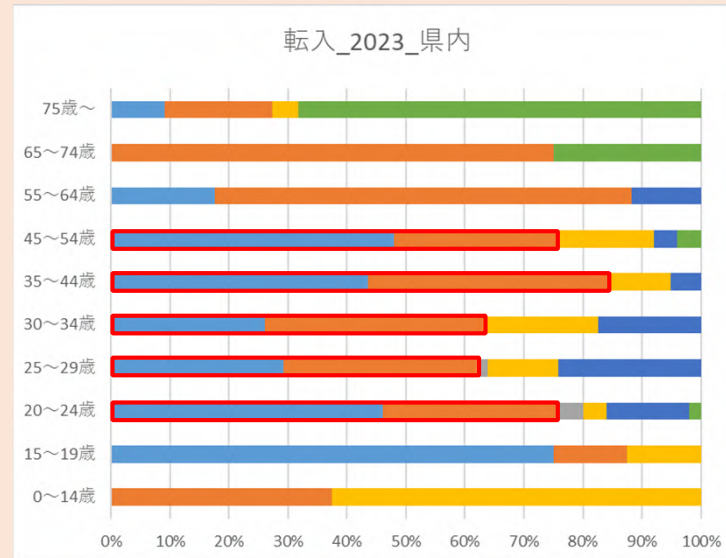
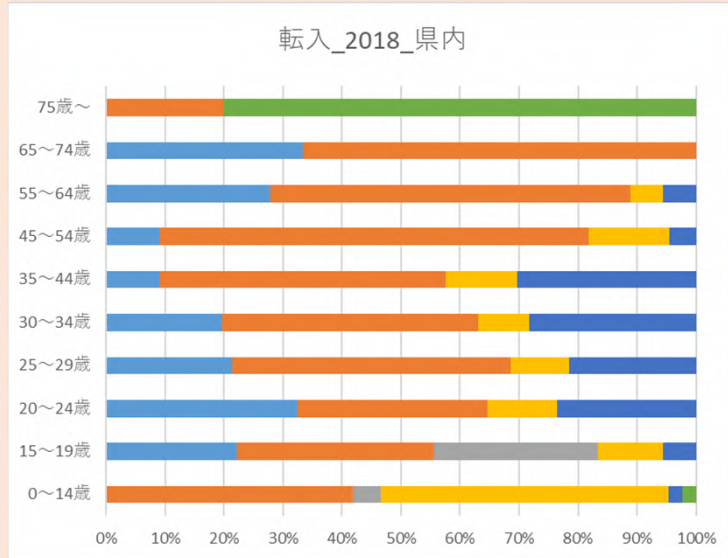


出典：新潟県人口移動調査

【2018年】

【2023年】

県内



【特徴】

- 20～54歳は「職業」、「住宅」が大半を占める

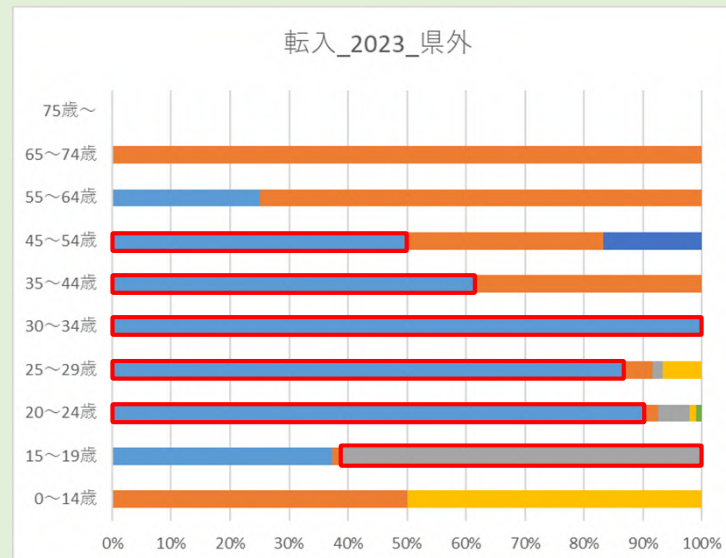
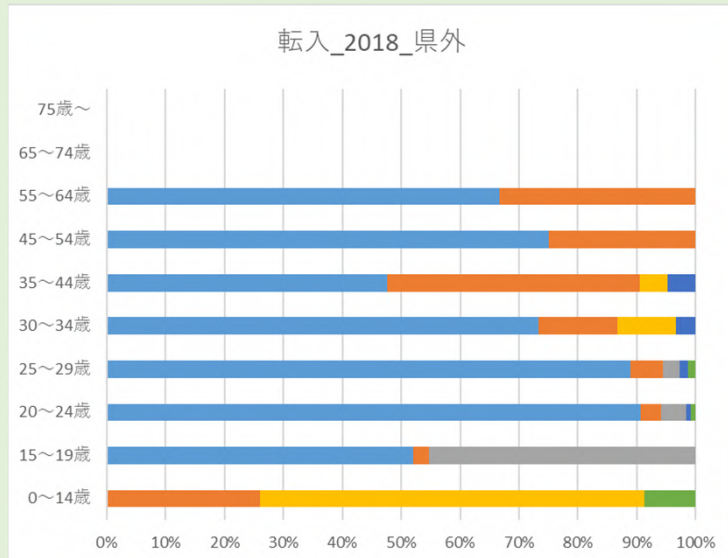
【2018→2023での変化】

- 15～54歳「住宅」が減少（⇔「職業」が増加）
- 15～19歳「学業」が減少

【共通】

55歳以上は対象者数が少ないため、取り扱いにおいては注意が必要である。  
 （グラフ表示なしは対象者がいないことを示す）

県外



【特徴】

- 20歳以上は「職業」が大半を占める  
→「住宅」は少ない
- 15歳～19歳「学業」多い  
→JAPANサッカーカレッジ

【2018→2023での変化】

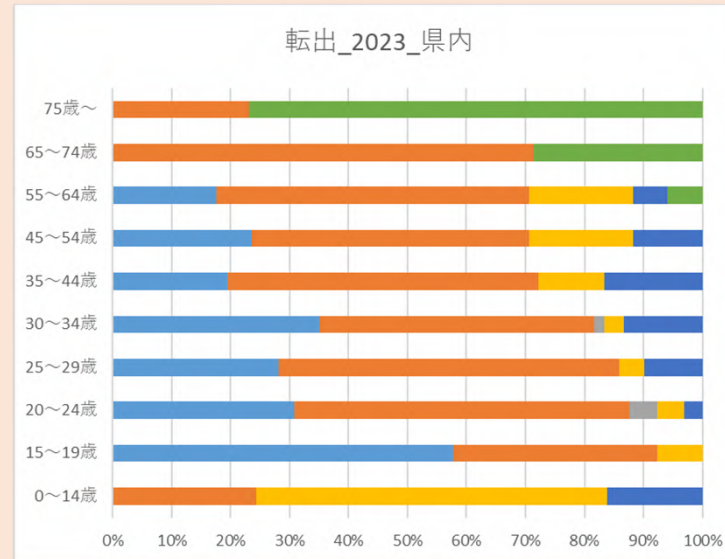
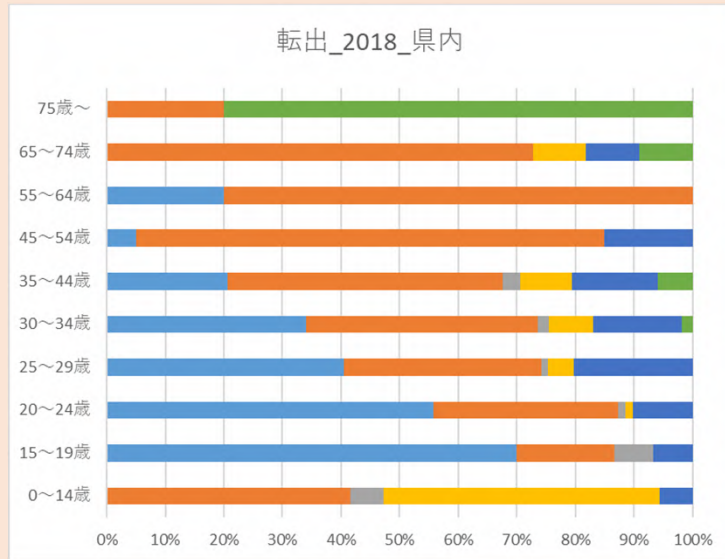
- 大きな変化はなし

出典：新潟県人口移動調査

【2018年】

【2023年】

県内



【特徴】

- 20～54歳で「職業」、「住宅」が大半を占める

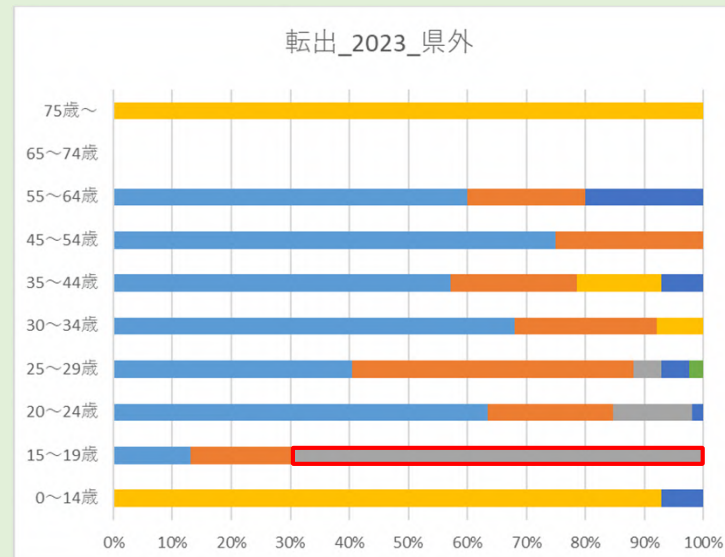
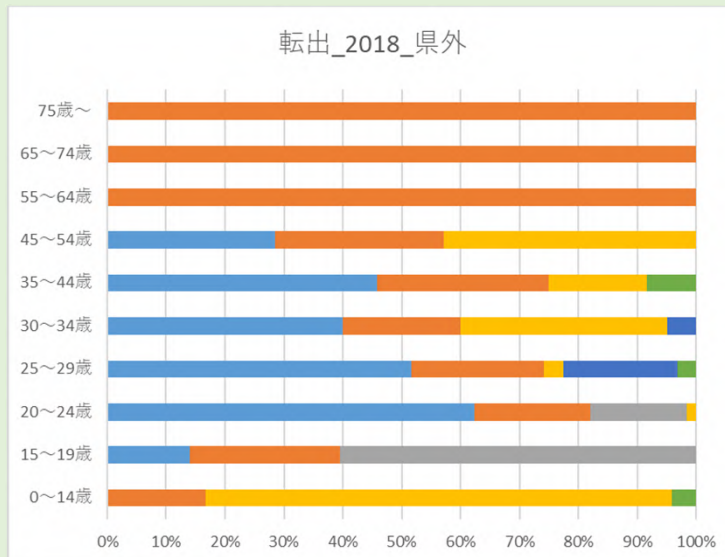
【2018→2023での変化】

- 45～54歳「職業」が増加

【共通】

55歳以上は対象者数が少ないため、取り扱いにおいては注意が必要である。  
(グラフ表示なしは対象者がいないことを示す)

県外



【特徴】

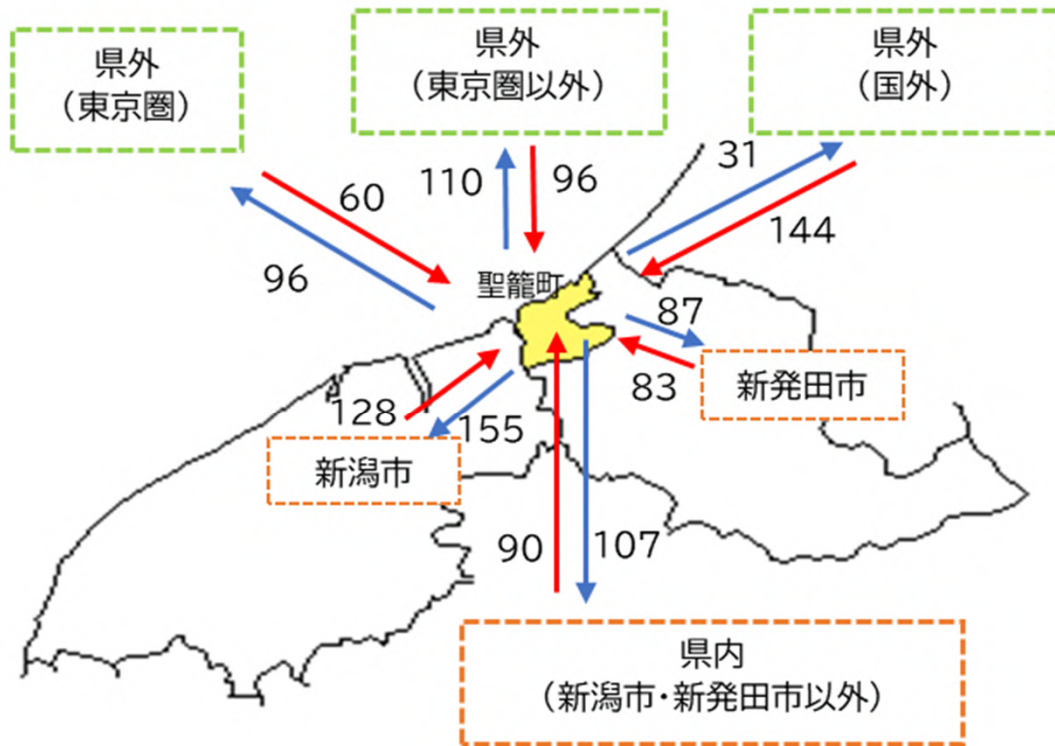
- 20歳以上は「職業」が大半を占める
- 15歳～19歳「学業」多い

【2018→2023での変化】

- 30～64歳「職業」が増加
- 25～29歳「住宅」が増加

- ・ 県内では新潟市、新発田市との間での転出入が多く、転出超過の傾向が続いています。
- ・ 県外では、**国外からの大幅な転入超過**の傾向が続いています。

## <2023年（2022年10月～2023年9月までの転出入）>

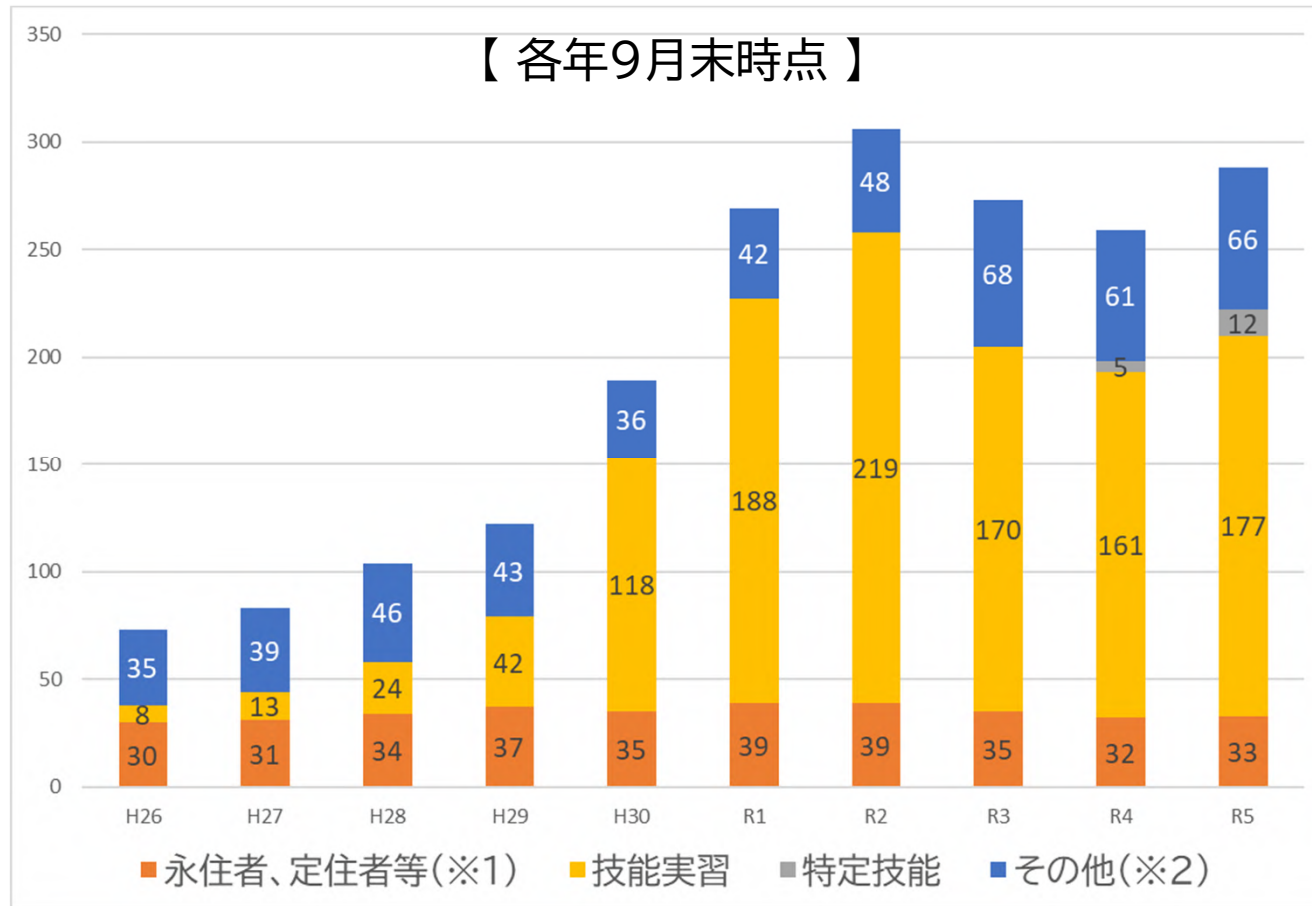


CraftMAPより作成

	2023年			【参考】2018年		
	転入数	転出数	差引	転入数	転出数	差引
県内	301	349	△ 48	297	372	△ 75
新潟市	128	155	△ 27	107	153	△ 46
新発田市	83	87	△ 4	108	107	1
新潟市・新発田市以外	90	107	△ 17	82	112	△ 30
県外	300	237	63	350	219	131
東京圏	60	96	△ 36	53	90	△ 37
東京圏以外	96	110	△ 14	129	110	19
<b>国外</b>	<b>144</b>	<b>31</b>	<b>113</b>	<b>168</b>	<b>19</b>	<b>149</b>
その他(※)	0	13	△ 13	0	7	△ 7
合計(県内+県外)	601	599	2	647	598	49

※ 転入の「その他」とは「従前の住所地が不明の者」、「職権記載による者」及び「帰化による者」をいい、転出の「その他」とは「職権消除による者」及び「国籍離脱の者」をいいます。

- 外国人人口は令和2年までは増加を続け、新型コロナ禍により令和3、4年は2年連続で減少していたが、**令和5年に入り3年ぶりに増加に転じました。**
- 東港立地企業等に従事する**「技能実習生」が大半を占めています。**  
 ※「技能実習」は在留期間が1年又は2年以内とされている。(1号→2号→3号への移行で最大5年間の滞在が可能)



※1「永住者・定住者等」:左記の他に永住者の配偶者等、日本人の配偶者等を含む。  
 ※2「その他」:永住者・定住者等、技能実習、特定技能以外の在留資格による住民を指す。